

# 鉄

生誕180年記念  
**富岡鉄斎**  
-近代への架け橋-展

TOMIOKA TESSAI Retrospective  
on the 180th Anniversary of His Birth  
A Bridge to Modern Paintings in Japan

# 斎



画室の富岡鉄斎 70 歳頃 (写真)

最後の文人画家とよばれる巨匠、富岡鉄斎(1836—1924)の画業を、清荒神清澄寺 鉄斎美術館所蔵の名品を中心に、約200点の作品、資料で紹介しています。後期展示では、重要文化財『阿倍仲麻呂 明州 望月図・円通大師 呉門 隱栖図』(公益財団法人 辰馬考古資料館蔵)が4月26日～5月8日まで特別出品されます。近年の富岡鉄斎展の中でも最大規模の回顧展を、どうぞお見逃しなく。  
※ 前期・後期で作品がほぼ入れ替わります。

2016年  
3月12日(土) - 5月8日(日)

前期: 3月12日(土)～4月10日(日)  
後期: 4月12日(火)～5月8日(日)

関連イベント

- 記念講演会 「鉄斎と山水」  
講師: 松岡正剛氏 (編集工学研究所所長、ISIS 編集学校校長)  
4月17日(日) 14:00～(約90分)  
ミュージアムホールにて(定員250名) 聴講無料(要観覧券・整理券※)  
※当日午前11時より当館ホワイエにて整理券を配布します。
- 特別レクチャー 「鉄斎画を楽しむ」  
講師: 鉄斎美術館学芸員  
4月9日(土) 14:00～(約60分)  
レクチャールーム(定員100名) 聴講無料(要観覧券)
- 学芸員による解説会  
4月2日(土)、16日(土)、30日(土)、5月7日(土) 16:00～(約45分)  
レクチャールーム(定員100名) 聴講無料
- ミュージアム・ボランティアによる解説会  
会期中の毎週日曜日 11:00～(約15分)  
レクチャールーム(定員100名) 聴講無料
- 花月菴流煎茶席  
4月29日(金・祝) ①11:00～11:45 ②11:50～12:35 ③12:40～13:25  
④13:30～14:15 ⑤14:20～15:05  
アトリエ1 無料(要観覧券) 主催: 花月菴流大阪支部
- こどものイベント 「水墨画に挑む」  
講師: 村田隆志氏 (大阪国際大学准教授)  
4月30日(土)  
※詳しい情報は巻末の「こどもプログラム」欄をご覧ください。



群仙集会図 1916年 絹本着色、一幅  
清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵 (後期展示)

観覧料

一般 1,300 (1,100) 円、大学生 900 (700) 円、  
高校生・65歳以上 650 (550) 円、中学生以下無料  
※( )内は、20名以上の団体割引料金。  
※主なチケット販売場所: JTB各支店・総合提携店、ローソン・ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクスほか京阪神のプレイガイド。  
※コンビニ商品番号: 当日券 0242178  
※前期ご観覧の半券(招待券除く)の提示により後期は団体割引料金でご観覧いただけます。  
※障がいのある方は各当日料金の半額(65歳以上をのぞく)、その介護の方1名は無料。  
※各種割引の適用は、会期中、美術館窓口のみ。要証明。

関連イベント

- 講演会  
講師: 木下直之氏 (東京大学教授、文化資源学)  
6月5日(日) 14:00～(約90分)  
ミュージアムホールにて(定員250名)  
聴講無料(要観覧券・整理券※)  
※当日11:00からホワイエにて整理券を配布
- 学芸員によるギャラリートーク  
5月28日(土) 16:00～(約60分)  
聴講無料(要観覧券・会場入口に集合)
- ミュージアム・ボランティアによる解説会  
会期中の毎週日曜日 11:00～(約15分)  
レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

観覧料

一般 1,300 (1,100) 円、大学生 900 (700) 円、  
高校生・65歳以上 650 (550) 円、中学生以下無料  
※( )内は、前売料金及び20名以上の団体割引料金。  
※前売券は一般、大学生のみ、5月20日(金)まで販売します。  
※主なチケット販売場所: JTB各支店・総合提携店、ローソン・ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクスほか京阪神のプレイガイド。  
※コンビニ商品番号: 前売券: 0242677 当日券: 0242678  
※障がいのある方は各当日料金の半額(65歳以上をのぞく)、その介護の方1名は無料。  
※各種割引の適用は、会期中、美術館窓口のみ。要証明。

激動と復興の時代  
時代を生きぬいた  
作品

# 1945年±5年

2016年  
5月21日(土)～7月3日(日)

本展覧会は、1940年から50年までの美術に焦点を当てます。1945年を境にして前半は日中戦争、アジア・太平洋戦争の時代、後半は、連合軍によって占領統治された時代です。日本の近代の歴史の中で最も激動の時代といえるでしょう。このような時代に、美術家はどのような表現を行い、社会とどのような関係を持ったのでしょうか。そのことを、約70名の作家による約200点の作品によって検証します。



小磯良平《斉唱》1941年 兵庫県立美術館蔵